

ビジネスプラン作成法学ぶ



日本公庫白糠高で出張授業

【白糠】白糠高校（田村 信明校長）の3年生は今年度も、日本政策金融公庫が主催する「創造力、無限大」高校生ビジネスプラン・同グランプリは、全国の

グループごとにビジネスアイデアを話し合う生徒

若者ならではの自由な発想や創造力を生かしたビジネスプランを提案してもらうもので、今年で10回目。3年生19人は3～4人のグループに分かれてプランを作成し、最大3チームがエントリーする予定だ。12月上旬にファイナリスト10組が決まり、来年1月に最終審査が行われる。

出張授業では、同公庫国民生活事業本部北海道創業支援センター上席所長代理の山崎公寿さんが収支計画の立て方やマーケティングの考え方などを説明。「ビジネスとは、ニーズを満たす商品やサービスを提供して報酬を受け取ること」と解説した。

生徒は「高齢者や手足をあまり動かせない人が少し

の力で物を握れる手袋のよ
うな器具」「商品の重さを
量り、一定以上だと店員が
駆け付けて運ぶのを手伝っ
てくれるショッピングカー
ト」など、グループごとに
考えたビジネスアイデアを
発表していた。（水谷友路）